

2月27日(金)

第1会場 4階(飛天 A+B)

オープニングシンポジウム

9:20～10:50

患者に寄り添うとは

座長：伊達 久(仙台ペインクリニック 麻酔科)

慢性疼痛患者に寄り添うとは？：心身医療の実践現場からの学び

細井 昌子(九州大学病院 心療内科・集学的痛みセンター / マインドボディセンター福岡)

その人となりと世界を知り、その人に寄り添う～ひとは人生の経験を通していたみを認識する～

牛山 実保子(日本大学医学部附属板橋病院 看護部)

触れる・聴く・共に歩く -理学療法士が考える「寄り添う」こと-

細見 恭介(奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター リハビリテーション係)

心理師の立場から「患者に寄り添う」を相互関係の観点で再考する

上田 健斗(関西医科大学 心療内科学講座)

特別講演

11:00～12:00

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために

座長：川井 康嗣(仙台ペインクリニック石巻分院)

演者：花戸 貴司(東近江市永源寺診療所)

ランチオンセミナー1 共催：第一三共株式会社

12:20～13:20

患者治療満足度を考慮した神経障害性疼痛治療を考える

座長：田邊 豊(順天堂大学医学部附属練馬病院 麻酔科・ペインクリニック)

患者治療満足度を考慮した神経障害性疼痛へのマネジメント：心身医学の立場から

演者：細井 昌子(九州大学病院 心療内科)

患者の治療満足度を考慮した神経障害性疼痛の薬物療法

演者：濱口 眞輔(獨協医科大学医学部 麻酔科学講座)

ワークショップ

14:00～15:50

動機づけ面接

司会：笠原 諭(東京大学 医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター)

明日から使える動機づけ面接入門-慢性疼痛患者との協働意思決定を目指して-

講師：北田 雅子(札幌学院大学 人文学部)

座長：松原 貴子（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

運動だけでは効かない！疼痛リハビリテーションの課題と対策

服部 貴文（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

慢性疼痛に対する仮想現実（VR）を用いたリハビリテーションの可能性と課題

中楚 友一郎（愛知医科大学医学部 疼痛医学講座）

ライフスタイル管理と作業療法：疼痛律動性に基づく慢性疼痛への新しい視点

田中 陽一（兵庫医科大学 リハビリテーション学部作業療法学科）

## 第2会場 4階（飛天C）

### 一般演題1 <病態評価>

9:20～10:10

座長：矢部 充英（大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学講座）

山口 敬介（順天堂東京江東高齢者医療センター）

#### 1-1 小児慢性疼痛における中枢感作の顕在化：心理指標だけでは捉えられない病態生理の定量的知見

服部 貴文（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 / 愛知医科大学 医学部 疼痛医学講座）

#### 1-2 慢性術後痛（CPSP）に関する実態調査

－民間整形外科病院における予防的ケアシステム構築の試案－

渡辺 晋吾（運動器ケアしまだ病院）

#### 1-3 慢性痛患者の痛み把握に有用な心理評価項目の検討

小林 如乃（昭和医科大学ストレスマネジメント研究所）

#### 1-4 高齢術後痛に潜む疼痛感作：治療反応性の規定因子となり得る新たな病態生理の示唆

山口 修平（済衆館病院リハビリテーション技術科 / 神戸学院大学総合リハビリテーション学部）

#### 1-5 ペインクリニック外来患者における独自破局化思考尺度と4項目質問票の関連

－後ろ向き研究－

木村 信康（湘南藤沢徳洲会病院）

#### 1-6 受傷6か月以上経過した慢性期頸椎捻挫後遺症に対する緩消法単回介入の即時効果と4週間転帰：無痛到達有無による反応層別化解析

坂戸 孝志（（一社）日本健康機構 / 国立大学法人 鹿児島大学）

### シンポジウム1 認知行動療法だけじゃない、心理的アプローチ

10:40～12:10

座長：安野 広三（九州大学病院 心療内科）

細越 寛樹（関西大学 社会学部社会学科心理学専攻）

患者の輝く側面に着目して治療への主体性を引き出すブリーフセラピー

小林 なぎさ（新潟医療福祉大学 / 仙台ペインクリニック）

痛みの集学的治療における心理士の役割と心理的アプローチについて

～調整的音楽療法グループでの取り組みを中心に～

大倉 裕理（奈良県立医科大学附属病院ペインセンター）

慢性疼痛難治例に対する芸術療法の力

山室 香理（九州大学病院 心療内科）

**“整形外科”領域における“慢性疼痛”へのリハビリテーション治療**

座長：石川 真士（日本医科大学 疼痛制御麻酔科学分野）

**薬物療法とリハビリテーションの最適な組み合わせを考える**

演者：稲毛 一秀（千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 / 千葉大学医学部附属病院 痛みセンター）

**整形外科疾患に対する新たなリハビリテーション戦略**

演者：丹羽 祐斗（京都大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

**シンポジウム2 慢性腰下肢痛に対してインターベンションで挑む**

14:00～15:30

座長：藤原 亜紀（奈良県立医科大学 麻酔科）

伊藤 圭介（東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科）

**慢性腰下肢痛診療における Rac2 カテーテルの役割**

水野 幸一（日本医科大学多摩永山病院 麻酔科）

**慢性腰痛を対象とした当科での椎間板内治療について**

橋爪 圭司（社会医療法人高清水会高井病院 ペインクリニック外科）

**“刺激で治す”慢性腰下肢痛：脊髄刺激療法の適応・設定・フォローのすべて**

立山 真吾（潤和会記念病院 ペインクリニック科）

**シンポジウム3 慢性疼痛に対する統合医療**

15:40～16:40

座長：伊藤 和憲（明治国際医療大学 鍼灸学部）

**統合医療とは？**

林 紀行（仁泉会病院 内科・精神科）

**慢性疼痛に対する統合医療 西洋医学×漢方治療**

中西 美保（滋賀医科大学 麻酔学講座）

**慢性疼痛に対する鍼灸治療**

齊藤 真吾（明治国際医療大学 鍼灸学部 鍼灸学科）

**一般演題8 <インターベンション>**

16:50～17:30

座長：小林 玲音（昭和医科大学医学部 麻酔科学講座）

波多野 貴彦（石切生喜病院 麻酔科）

**8-1 腰椎椎間板ヘルニアに対する経皮的髄核摘出術における高周波熱凝固電極（L'DISQ™）の治療成績に関する後ろ向き研究**

木村 信康（湘南藤沢徳洲会病院）

**8-2 腰椎椎間板ヘルニアに対する椎間板内治療 LDISQ の臨床成績と至適病変**

伊藤 圭介（東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科）

**8-3 頸部の慢性疼痛に対して脊髄症状と判断して手術治療を行った 2 例**

沼沢 拓也（八戸市立市民病院整形外科）

**8-4 下腹部痛のみを呈した胸椎圧迫骨折に対し経皮的椎体形成術が奏功した一例**

高岡 春花（NTT東日本関東病院ペインクリニック科）

**8-5 SCS の中枢作用は precision modulation で説明しうるか？**

遠藤 孝裕（牧田リハビリテーション病院 / 牧田総合病院）

## 第3会場 4階（飛天 D）

### 一般演題2 <がん性疼痛>

9:20～10:10

座長：上野 博司（パナソニック健康保険組合 松下記念病院 緩和ケア内科）

間宮 敬子（信州大学医学部附属病院）

#### 2-1 強オピオイドで管理されていた 10 年来の慢性癌関連疼痛患者の疼痛管理の一例

瀬藤 容子（医療法人弘仁会 ゆうゆうクリニック）

#### 2-2 医療用麻薬の漸減・中止に難渋した乳がんサバイバー症例

権藤 栄蔵（順天堂大学医学部附属練馬病院 麻酔科・ペインクリニック）

#### 2-3 メサドンによる鎮痛効果と関連因子についての検討

島崎 咲（昭和医科大学横浜市北部病院）

#### 2-4 オピオイド誘発性痛覚過敏が疑われた 1 症例

木村 太（弘前大学大学院医学研究科 地域侵襲制御医学講座（麻酔科））

#### 2-5 根治的放射線療法を受けた頭頸部がん患者のオピオイド使用状況の確認と現状調査

片山 沙織（地方独立行政法人大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター）

#### 2-6 乳がんサバイバーにおける化学療法誘発性末梢神経障害の経過と身体活動量との関係

樋口 大輔（高崎健康福祉大学）

### 一般演題3 <リハビリテーション>

10:20～11:10

座長：城 由起子（名古屋学院大学 リハビリテーション学部）

保岡 宏彰（保岡クリニック論田病院）

#### 3-1 慢性疼痛の病態に応じた運動導入戦略：インターベンショナル治療による阻害因子への対応と個別化運動療法

池村 明里（中部国際医療センター 麻酔・疼痛・侵襲制御センター / 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科）

#### 3-2 難治性両踵部痛に対する疼痛教育と段階的運動療法が奏功した一例

川越 悠也（大阪大学医学部附属病院 疼痛医療センター / 医療法人 暁会 田辺整形外科）

#### 3-3 右第七肋骨腫瘍が原因と見られた右胸部痛に二次的な筋力低下および運動制御障害が関与したと思われた症例

佐藤 雅文（多摩センター痛みのクリニック リハビリテーション科 / あびこ痛みのクリニック リハビリテーション科）

#### 3-4 能動型 VR を活用し段階的に運動療法を進めた CRPS の一例

菅野 恭平（兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部）

#### 3-5 回復期リハビリテーション病棟における集中治療後症候群患者の慢性疼痛に対するアプローチ

河瀬 智文（医療法人社団アールアンドオー 静清リハビリテーション病院）

#### 3-6 QST 評価の結果から異なったアプローチを行い症状が改善した 2 症例

佐藤 彰哉（仙台ペインクリニック リハビリテーション科）

座長：服部 貴文（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

若泉 謙太（慶應義塾大学医学部 麻酔学教室）

4-1 サーマルグリル錯覚と定量的感覚検査の関係

大場 美穂（明治国際医療大学鍼灸学部鍼灸学科）

4-2 A  $\delta$ 線維および C 線維の表皮内神経痛覚閾値の関連性－健全成人における基礎的検討－

竹内 伸行（高崎健康福祉大学 保健医療学部 / 本庄総合病院 リハビリテーション科）

4-3 高周波局所振動刺激による疼痛感作抑制の神経線維特異性：

A  $\delta$ 線維選択的効果と広範な鎮痛作用の検証

下 和弘（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

4-4 骨格筋動員量は運動誘発性鎮痛（EIH）の末梢機序を規定するか：

多筋群収縮と単一筋収縮の比較による新規メカニズム検証

大賀 智史（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

4-5 慢性疼痛労働者の痛みに対する自己効力感と心理社会的因子

北川 秀朗（専門学校星城大学リハビリテーション学院）

ランチオンセミナー3 共催：株式会社トップ

パルス高周波法（pulsed radiofrequency; PRF）、経皮的パルス高周波（transcutaneous PRF; TPRF）の進化と可能性

座長：井関 雅子（順天堂大学医学部 麻酔科学ペインクリニック講座）

演者：福井 聖（愛知医科大学医学部 痛み医療開発寄附講座）

一般演題5 <線維筋痛症>

座長：木村 嘉之（獨協医科大学 麻酔科学講座）

松田 陽一（大阪大学大学院医学系研究科 麻酔・集中治療医学教室）

5-1 愛着スタイルと解離特性に注目した線維筋痛症のクラスタリングの試みとその臨床的特徴の検討

安野 広三（九州大学病院 心療内科 / 九州大学病院 集学的痛みセンター）

5-2 440例の線維筋痛症患者の臨床像から描かれる中枢感作について

西岡 健弥（順天堂東京江東高齢者医療センター 脳神経内科）

5-3 線維筋痛症の中枢性感作症状と定量的感覚検査（QST）での冷痛覚閾値との関連

藤本 晃嗣（九州大学病院心療内科）

5-4 慢性疼痛患者における実存的転換の脳科学

－認知行動療法を補完する“意味・価値レベル”の神経機構－

喜山 克彦（喜山整形ハーブクリニック）

- 5-5 線維筋痛症における栄養療法の重要性  
－血液脳関門 (BBB)、後根神経節 (DRG)、自律神経節 (AG) から読み解く神経障害－  
喜山 克彦 (喜山整形ハーブクリニック)
- 5-6 機能的近赤外分光法 (fNIRS) を用いた線維筋痛症の病態に関するナラティブレビュー  
福元 智子 (九州大学病院集学的痛みセンター / 済生会福岡総合病院 麻酔科 / 九州大学病院 麻酔科蘇生科)

---

一般演題6 < 帯状疱疹関連痛 >

15:00 ~ 15:50

座長：岩下 成人 (滋賀医科大学 ペインクリニック科)

境 徹也 (佐世保共済病院 ペインクリニック麻酔科)

- 6-1 帯状疱疹後神経痛に対して頸部硬膜外ブロック実施後に一過性の呼吸抑制を来した一症例  
山田 武志 (飯田市立病院 緩和ケア内科・麻酔科)
- 6-2 帯状疱疹関連痛を有する患者における睡眠の検討  
杉浦 健之 (名古屋市立大学大学院麻酔科学・集中治療医学分野 / 名古屋市立大学病院いたみセンター)
- 6-3 帯状疱疹後神経痛における体性感覚サブタイプの考察：運動療法反応性に基づく探索的症例集積研究  
運天 優拓 (医療法人豊誠会 牧港クリニック リハビリテーション科 / 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科)
- 6-4 三叉神経第一枝領域帯状疱疹関連痛と群発頭痛の併発が疑われた症例  
湯浅 あかね (近畿大学医学部麻酔科学教室)
- 6-5 当院ペインクリニック外来における亜急性期帯状疱疹患者の痛みと不安・抑うつを経時的変化  
小野 高 (聖路加国際病院)
- 6-6 帯状疱疹後神経痛に対する過量オピオイドを安全に中止できた入院介入の一例  
穴山 玲子 (湘南藤沢徳洲会病院)

---

一般演題7 < 看護 >

16:00 ~ 16:40

座長：安藤 千晶 (佛教大学保健医療技術学部 看護学科)

加藤 実 (春日部市立医療センター 緩和ケア内科)

- 7-1 慢性疼痛患者の就労支援における症例報告－葛藤を通して見えた看護の専門性－  
小野 有花 (千葉大学医学部附属病院)
- 7-2 思春期 CRPS 患者に対する集学的チーム医療の実践と成果  
－疼痛改善と治療継続を支えた多職種連携の1例－  
土井 陽子 (兵庫医科大学病院 ペインクリニック部)
- 7-3 スムーズな診療を支える看護師問診の実際 － KC 痛みのクリニックにおける実践報告－  
足立 沙弥香 (KC痛みのクリニック)
- 7-4 脊椎整形外科病棟の慢性疼痛患者に対する歩行自立度標準化の取り組み  
川久保 宏美 (九州大学病院別府病院)
- 7-5 ペインクリニック外来における看護師による疼痛教育と面談介入の効果  
出穂 麻智子 (日本医科大学千葉北総病院)

座長：信太 賢治（昭和医科大学横浜市北部病院 麻酔科）

關山 裕詩（帝京大学医学部 麻酔科・ペインクリニック科）

9-1 慢性疼痛患者の退院支援における多職種連携の現状と看護の役割

佐藤 幹代（自治医科大学）

9-2 顔面神経麻痺の病態・治療解説動画が患者理解と気持ちに与える影響

福羅 怜奈（昭和医科大学藤が丘病院麻酔科）

9-3 当科で診療した胸痛 19 症例について

中村 大輝（高清会高井病院）

9-4 慢性疼痛診療における医療従事者の困難感と知識量の不一致：多職種における特性の構造的分析

大友 篤（仙台ペインクリニック）

9-5 慢性疼痛患者の主体性を支えるソーシャルワーカーの連携状況と多職種連携実践能力

廣瀬 圭子（日本体育大学）

2月28日(土)

第1会場 4階(飛天 A+B)

教育講演1 共催：奈良県医師会麻酔部会

9:30～10:30

ワクチン接種後疼痛、針刺し後疼痛への取り組み

座長：高雄 由美子(兵庫医科大学病院 ペインクリニック部)

演者：仲西 康顕(奈良県立医科大学 整形外科・臨床研修センター)

シンポジウム6 片頭痛と痛覚変調性疼痛～慢性疼痛治療医こそ頭痛を見るべし～ 10:40～12:10

座長：前田 倫(西宮市立中央病院 麻酔科・ペインクリニック科)

片頭痛の疾患進展と中枢性感作：発作間欠期支障と CGRP 関連抗体薬の可能性

團野 大介(富永病院 頭痛センター)

慢性疼痛外来における片頭痛診断のポイント

石川 理恵(八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック)

頭の痛い患者に頭を痛める治療者のために

水野 泰行(関西医科大学 心療内科学講座)

ランチョンセミナー4 共催：日本臓器製薬株式会社

12:20～13:20

神経障害性疼痛に対する最新の薬物療法～ガイドラインの解釈と実践的使用～

座長：山口 重樹(獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座)

演者：境 徹也(佐世保共済病院ペインクリニック麻酔科)

共催シンポジウム 共催：塩野義製薬株式会社

13:40～15:40

がん患者にもいる痛覚変調性疼痛～評価と治療を考える

座長：飯田 宏樹(中部国際医療センター 麻酔・疼痛・侵襲制御センター / 岐阜大学)

山口 重樹(獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座)

第3の痛みの機序カテゴリー「痛覚変調性疼痛」

加藤 総夫(東京慈恵会医科大学)

鎮痛薬抵抗性の背景にある感情調節の破綻 - がん性疼痛の痛覚変調性疼痛への移行をどう見立てるか

川居 利有(公益社団法人がん研究会有明病院 腫瘍精神科)

がん疼痛治療の現場から

笹良 剛史(豊見城中央病院 全人的痛みセンター 麻酔科・緩和ケア内科)

**運動は慢性疼痛のどこに効く？効かない？新たな視点から読み解く運動療法の実装科学**

座長：井関 雅子（順天堂大学医学部 麻酔科学ペインクリニック講座）

演者：松原 貴子（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

## 第2会場 4階（飛天C）

### シンポジウム5 看護師の会「急性痛から慢性期へ至る痛みの過程とその痛みに寄り添った看護実践」 9:00～10:30

話題提供者：田中 千晶（愛知医科大学病院NP部、診療看護師）

司会進行：坂田 幸代（奈良県立医科大学附属病院）

山下 祐貴（公立甲賀病院）

コメンテーター：佐藤 今子（日本大学医学部附属板橋病院）

土井 陽子（兵庫医科大学病院）

### シンポジウム7 心理の会「慢性疼痛診療の実際 医療倫理の視点から考える臨床のジレンマ」 10:40～12:10

座長：川居 利有（がん研有明病院 腫瘍精神科）

有村 達之（九州ルーテル学院大学 / 熊本大学病院集学的痛みセンター）

過剰要求に対して医療者は医療倫理のジレンマに陥るが、葛藤は患者の中にある。

田代 雅文（熊本市市民病院麻酔科、熊本大学病院集学的痛みセンター）

ペインクリニック開業医の立場から

新城 健太郎（山之手痛みと内科のクリニック）

慢性疼痛診療における発達障害への気づきと支援：評価・説明・治療につなぐ実践的アプローチ

笠原 諭（東京大学医学部附属病院 麻酔科・痛みセンター）

慢性疼痛患者の要求行動をどう理解し、どう向き合うか

武村 尊生（東北福祉大学 / 獨協医科大学 医学部麻酔科学講座）

### ランチオンセミナー5 共催：アボットメディカルジャパン合同会社 12:20～13:20

慢性疼痛に対するSCSの位置づけ

座長：中川 雅之（NTT東日本関東病院 ペインクリニック科）

脊髄刺激療法の適応 - 帯状疱疹関連痛を中心に -

演者：荒川 恭佑（岡山大学学術研究院医療開発領域 麻酔科蘇生科）

痛みに寄り添う脊髄刺激療法

演者：萩原 信太郎（鹿児島大学麻酔科ペインクリニック）

### シンポジウム8 口腔顔面痛の会「顔面痛の医療連携」 13:40～14:40

座長：坂本 英治（九州大学病院 顎口腔外科）

顔面痛の診断、治療のポイント 三叉神経痛に対する医科歯科連携

安部 洋一郎（NTT東日本 関東病院 ペインクリニック科）

三叉神経痛における疼痛構造の再評価と口腔顔面痛専門医の役割

土井 充（広島大学大学院医系科学研究科 歯科麻酔学研究室）

**その痛みは天気のせいかも**

座長：川口 昌彦（奈良県立医科大学 麻酔科学教室）

演者：佐藤 純（中部大学 / 愛知医科大学）

## 第3会場 4階（飛天D）

### 一般演題10 <心理的アプローチ>

9:00～9:50

座長：安達 友紀（神戸大学大学院 人間発達環境学研究所）

安野 広三（九州大学病院 心療内科・集学的痛みセンター）

#### 10-1 注意制御や感情調整の脆弱性をもつ慢性疼痛患者に対して疼痛再処理療法（PRT）が有効であった一例

原 佳代子（慶応義塾大学病院 痛み診療センター / 慶応義塾大学医学部 麻酔学教室）

#### 10-2 ナラティブセラピーが慢性疼痛に有効であった2症例

兵 純子（社会医療法人高済会 高井病院）

#### 10-3 周期的に側胸部痛の発症と寛解を繰り返す一症例

藤原 航太（仙台ペインクリニック）

#### 10-4 家族との面談を通して、間接的に行動量が増加した慢性疼痛患者の一症例

佐藤 和美（兵庫医科大学病院ペインクリニック部）

#### 10-5 セネストパチーを呈した苦痛を訴える痛覚変調性疼痛患者に、マインドフルネストレーニングが適応した一例

村上 安壽子（順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座）

#### 10-6 交通外傷後に線維筋痛症および心的外傷後ストレス障害を発症し、解離性障害が難治性の経過に影響を及ぼしたことが判明した2例

松崎 洸史（九州大学病院心療内科 / 九州医療センター総合診療科）

### 一般演題11 <統合医療>

10:00～10:50

座長：石丸 圭荘（SBC東京医療大学）

佐野 博昭（大阪医科大学 麻酔科学教室）

#### 11-1 不安傾向を有する研究対象者に対して耳介鍼通電刺激が内因性鎮痛機構へ及ぼす影響

山口 栞（明治国際医療大学 大学院）

#### 11-2 VRを用いた鍼灸治療が鎮痛効果に与える影響について

比嘉 翔平（明治国際医療大学 大学院 鍼灸学研究科 地域健康コミュニティ学寄付講座 / 平成医療学園専門学校）

#### 11-3 慢性疼痛患者を含む鍼灸院受診患者428名の後方視的解析 ～心理社会的要因と医療連携の重要性～

後藤 繁宗（名古屋トリガーポイント鍼灸院）

#### 11-4 酵素風呂前後における痛覚閾値の変化に関する探索的研究

大井 康宏（明治国際医療大学 鍼灸学部）

#### 11-5 台座灸の深部温度数値シミュレーションに基づくTRPV1活性化と疼痛関連リスク解析

糸井 信人（病鍼連携連絡協議会）

## 11-6 気象病（頭痛・眩暈）における頸椎機能障害の評価と調整法による治療 :3 例の検討

高木 二郎太（湘南カイログループ）

### 一般演題12 <神経ブロック>

11:00～11:50

座長：武富 麻恵（昭和医科大学医学部 麻酔科学講座）

藤原 亜紀（奈良県立医科大学 麻酔科）

#### 12-1 頭頸部領域の薬剤抵抗性がん性疼痛に対し、超音波ガイド下浅頸神経叢ブロック・パルス高周波療法が効果的であった一例

大橋 祐介（聖路加国際病院 麻酔科）

#### 12-2 Pancoast 症候群による左上肢痛への薬物療法及び透視下鎖骨上腕神経叢ブロックが効果を認めた一症例

木本 勝大（ヘルランド総合病院麻酔科）

#### 12-3 腰椎椎間関節嚢腫による反復性の疼痛に対し、2度の嚢腫穿刺がともに奏効した1例

赤嶺 智教（友愛医療センター麻酔科）

#### 12-4 膝関節手術後疼痛に対し iPACK ブロック、超音波ガイド下腓骨神経パルス高周波法が奏功した一症例

千葉 聡子（順天堂大学医学部麻酔科学ペインクリニック講座）

#### 12-5 定期的な腰部硬膜外ブロックにより症状緩和を図っている巨大傍腰椎腫瘍の1例

天野 功二郎（順天堂大学医学部附属練馬病院）

#### 12-6 慢性化した外傷性三叉神経障害性疼痛に対してオトガイ神経高周波パルス療法が奏功した症例

板東 悠太郎（NTT東日本関東病院 ペインクリニック科）

### 一般演題13 <集学的治療>

13:40～14:30

座長：千葉 聡子（順天堂大学医学部 麻酔科学ペインクリニック講座）

原 佳代子（慶應義塾大学病院 痛み診療センター）

#### 13-1 慢性頸部痛に対し、心理社会的文脈の事前評価に基く適合性が高いリハビリ介入により、疼痛改善を認めた一例

阪本 祐平（医療法人裕仁会森整形外科リハビリクリニック）

#### 13-2 痛みの神経メカニズムに基づく集学的治療が奏功した CRPS Type I の症例報告

河合 洋輔（寺田痛みのクリニック）

#### 13-3 開胸後術後疼痛症候群に対して、早期から集学的治療を行い2ヵ月での社会復帰を目指した1症例

武富 麻恵（あびこ痛みのクリニック / 昭和医科大学医学部麻酔科学講座）

#### 13-4 生活習慣指導を契機に疼痛および注意欠如・多動性の改善がみられた慢性疼痛症例

山口 貴恵（牧港クリニック ペインクリニック内科）

### 13-5 慢性疼痛と自殺－リスクの予測と予防

柴田 政彦 (奈良学園大学 / NPO痛みにとりくむしらかば)

### 13-6 「八戸モデル」の活動紹介～患者紹介のための新たな情報提供書作成について～

石村 慶太 (八戸市立市民病院 リハビリテーション科)

## 一般演題14 <難治性症例へのアプローチ>

14:40～15:30

座長：清水 啓介 (千葉大学未来医療教育研究機構)

田代 雅文 (熊本市市民病院 麻酔科)

### 14-1 身体症状症の治療後に右股関節部痛が顕在化した一例

伊藤 裕之 (仙台ペインクリニック)

### 14-2 対話を中心とした診療が奏功した40年来の全身性慢性疼痛の1症例

深澤 正之 (JA長野厚生連 佐久総合病院)

### 14-3 冷えが背景にあり漢方併用が奏効した手足の痛みの2症例

杉本 真理子 (帝京大学医学部附属病院ペインクリニック科)

### 14-4 慢性腰痛患者のVASにおいて最小値の推移が特徴的であった1症例

有働 幸紘 (藤田医科大学病院 麻酔科・ペインクリニック外来)

### 14-5 増強した慢性腰痛に対しバイオフィードバック療法を通して対処法を会得した症例

坂崎 友哉 (関西医科大学心療内科学講座)

### 14-6 軽度認知機能障害を有する高齢者の抑うつ合併慢性疼痛に対する心理社会的介入： 問題適応療法 (PATH-Pain)

齊尾 武郎 (フジ虎ノ門整形外科病院)

## 一般演題15 <頭痛・顔面痛>

15:40～16:40

座長：石川 理恵 (八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック)

今泉 うの (神奈川歯科大学 歯科麻酔学分野)

### 15-1 口腔顔面痛患者の疼痛と破局化思考の関係性についての検討

田中 裕 (新潟大学医歯学総合病院歯科麻酔科)

### 15-2 口腔灼熱痛症候群と診断した三叉神経痛の一例

大野 由夏 (明海大学歯学部病態診断治療学講座歯科麻酔学分野)

### 15-3 前三叉神経痛の1症例

大久保 昌和 (日本大学松戸歯学部 口・顔・頭の痛み外来)

### 15-4 舌炎から診断に至ったコバラミン欠乏症の3症例

福田 えり (日本大学松戸歯学部 歯科麻酔学講座)

### 15-5 歯科治療を契機に発症した身体症状症の一例

山口 敦己 (神奈川歯科大学麻酔科学講座歯科麻酔学分野)

**15-6 心身包括的心理療法にて解離性障害・転換性障害を伴う難治性頭痛および周辺症状が改善した  
2例**

森 喜代子（慶應義塾大学病院 痛み診療センター / 慶應義塾大学医学部 麻酔学教室）

**15-7 CGRP 関連抗体薬における薬剤間切替えの経験**

岩田 敏男（岩田ペインクリニック内科）